

担当教員 河合洋尚	Instructor Name KAWAI Hironao			
開講期 前学期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DRSa05		単位 / Credit 2		
科目名称： 東アジア文化研究演習 II		Subject: Seminar II (East Asian Studies)		
<p>授業概要：</p> <p>空間と景観の人類学 / Anthropology of Space and Landscape</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習（初回のみ講義） ・ 人類学とその隣接領域における空間論を学ぶとともに、その理論や方法を用いて民族誌的事例を考察するものを見方を涵養する。 				
<p>教育目標・目的：</p> <p>空間論から東アジア社会を考察する視点を養う</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 空間論および景観人類学の理論と方法を学習する。 ② 空間論と存在論の関係についての理解を深める。 ③ 空間論から東アジアの事例を考察する手法を学習する。 				
<p>授業計画：</p> <p>金曜日 13:30～15:00, 15:30～17:00</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 講義：「現代人類学における空間論の意義について」（第1回） ② 文献講読（1）「空間の人類学」（第2～5回） ③ 文献講読（2）「場所と場の人類学」（第6～9回） ④ 文献講読（3）「中国研究における場所の人類学」（第10～13回） ⑤ 研究発表「東アジアの事例からの考察」（第14～15回） <p>* （ ）の回数はあくまで目安である。受講人数や進捗状況に応じて変動しうる。</p>				
<p>成績評価：</p> <p>事前準備（30%）、レポート（70%）</p>				
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館</p>				
<p>使用言語：</p> <p>日本語</p>				
<p>教科書・参考書：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 河合洋尚（編）『景観人類学——身体・政治・マテリアリティ』時潮社 ② Setha M. Low (ed.) <i>Spatializing Culture: The Ethnography of Space and Place</i>, 2017 ③ Tim Cresswell <i>Place: An Introduction</i> (second edition), 2015 ④ Stephan Feuchtwang (ed.) <i>Making Place: State Projects, Globalization and Local Responses in China</i>, 				

2004

その他、必要に応じて『*Annual Review of Anthropology*』誌を用いる。

備考：

- ① 地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可。
- ② 東アジア（華僑華人社会や日系人コミュニティを含む）の事例を議論の中心とするが、それ以外の地域との比較も可能とする。
- ① 講読文献は英語を中心とするが、相談に応じて日本語や中国語の文献を使うことも可能とする。
- ② 空間論と関連する諸テーマ、例えば親族、宗教、都市、開発、観光、移民、記憶、モノ、エスニシティ、市民社会の人類学なども議論の対象とする。講義の詳細については履修前に問い合わせること。